

別表第1 学部学科の人材の養成に関する目的及び教育研究上の目的

(1) 教養学部

学部	<p>教養学部は、本学の教育理念たる「和」の精神に基づく全人教育を根本に据え、専門教育に裏づけられた確かな「基礎学力」及び他者とのコミュニケーション能力や困難を乗り越える忍耐力を備えたうえに、自ら主体的に考え行動できる社会人・職業人となるために必要な「社会人基礎力」と「汎用的技能」を身につけた、これからの地域社会を支える中核の人材、すなわち「地域基盤型職業人」を養成することを目的とする。</p>
学科	<p>地域教養学科</p> <p>教養学部の教育目的の遂行に向けて地域教養学科ではメジャー制をとり、「国際コミュニケーション」「心理と人間行動」「地域と社会」の3つのメジャーと、「復興支援」「地域公共政策」「地域とビジネス」「ICT」「日本語・日本文化」「教職」の6つのサブメジャーを設置して、以下のような到達目標を目指した教育を行う。</p> <p>(1) 1年次には、大学での学修の意義を理解し、自ら進んで学ぶ態度を身につけるとともに、日本語・情報リテラシーの基本能力、英語運用能力及び人文・社会・自然・健康にわたる基礎的知識を確実に修得して、4年間の学びの礎を築く。</p> <p>(2) メジャー科目は1年後期から、サブメジャー科目は2年前期から開設し、1つのメジャーと1つのサブメジャーを組み合わせる履修を基本とすることにより、それぞれの分野や領域の専門知識及びそれらに裏づけられた基礎学力と幅広い教養を4年次までに段階的・体系的に修得するとともに、学修したことを地域社会で活かすために必要な補完的知識や技能を身につける。</p> <p>(3) 2年次、3年次を中心に体系的なキャリア教育を行い、社会人として必要な知識や技能や考え方を確実に獲得するとともに、社会の一員としての自覚を持ち、働くことを通して地域社会に貢献する意欲・態度を身につける。</p> <p>(4) 2年次、3年次のゼミをはじめ、演習、実習、実験、調査、プロジェクト等、アクティブラーニングによる課題解決型の授業を通して、主体的な取り組み姿勢やコミュニケーション能力、課題探求力、判断力を身につける。</p> <p>(5) 4年次の卒業研究において、自ら立てたテーマの究明を行うことを通して、修得した知識や技能を統合し有効に活用する能力を身につける。</p>

(2) 薬学部

学部	<p>薬学部は、明星学苑の校訓「健康、真面目、努力」のもと、豊かな人間性を有し、地域の人々の健康を率先して守ることのできる自立した薬剤師を育成することを教育目的とする。一人ひとりの学生を大切にす手塩にかける教育を行い、医薬品の適正使用から患者への的確な服薬指導まで充分な対応ができるとともに、チーム医療の中で貢献できる、問題発見能力と問題解決能力のある質の高い薬剤師を育成し、地域社会に有為な人材を送り出すことを目指す。</p>
学科	<p>薬学科</p> <p>薬学部の教育目的を達成するために以下の能力を身につけ、かつ所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与する。</p> <p>(1) 薬剤師の社会的義務を認識し、医療の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を具現できる。</p> <p>(2) 医療分野における問題点を発見して解決するために、研究マインドと知識を統合・活用する力を有する。</p> <p>(3) 患者本位の医療を実施するために、チーム医療における円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>(4) 地域の医療および保健に貢献するために、薬剤師としての実践的能力を有する。</p> <p>(5) 薬剤師として科学と医療の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学習ができる。</p>

別表第2 全学共通教育科目及び単位数

(1) 初年次教育科目

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
フレッシュャーズセミナー 1	2		(教養学部)
フレッシュャーズセミナー 2	2		(教養学部)
イグナイト教育 1 A	3		(薬学部)
イグナイト教育 1 B	1		(薬学部)
計	8	0	

(2) リテラシー教育科目

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
日本語リテラシー	1		
コンピュータリテラシー	1		
計	2	0	

(3) 外国語教育科目

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
英語 A 1	1		
英語 A 2	1		
英語 B 1	1		
英語 B 2	1		
英語 C 1	1		2年次に履修
英語 C 2	1		2年次に履修
中国語 1		1	2年次に履修
中国語 2		1	2年次に履修
韓国語 1		1	2年次に履修
韓国語 2		1	2年次に履修
計	6	4	

外国人留学生においては、英語の代わりに単位数分の日本語を修得しなければならない。

(4) 一般教養科目

	授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
人文科学分野	哲学の世界		2	
	こゝろの科学		2	
	心の科学		2	
	世界の歴史と文化		2	
	倫理学の世界		2	
	芸術の世界		2	
	文学の世界		2	
社会科学分野	日本の歴史と文化		2	
	法学入門		2	
	経済学入門		2	
	社会学入門		2	
	災害からの復興		2	
	暮らしのなかの憲法		2	
	経営学入門		2	
自然科学分野	ジェンダー論		2	
	政治学入門		2	
	自然科学のあゆみ		2	
	健康と薬		2	
	統計のしくみ		2	
	生命の科学		2	
食品の科学		2		
地球環境の科学		2		
	計	0	44	

(5) 健康・スポーツ教育科目

	授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
	健康の科学	2		
	健康・スポーツ 1	1		
	健康・スポーツ 2	1		
	計	4	0	

別表第3 教養学部専門教育科目及び単位数
地域教養学科
基本科目

	授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
	地域教養の学び	2		
	国際コミュニケーション	2		
	心理と人間行動	2		
	地域と社会	2		
	計	8	0	

メジャー科目

	授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
国際 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	Oral Communication 1		1	
	Oral Communication 2		1	
	Oral Communication 3		1	
	Oral Communication 4		1	
	Communicative English Grammar 1		1	
	Communicative English Grammar 2		1	
	English Listening 1		1	
	English Listening 2		1	
	English Writing 1		2	
	English Writing 2		2	
	English Reading 1		2	
	English Reading 2		2	
	English Reading 3		2	
	English Reading 4		2	
	異文化コミュニケーション論		2	
	言語と社会		2	
	英米文学概論		2	
	英米文化概論		2	
	英語音声学 1		2	
	英語音声学 2		2	
	英語学概論		2	
	グローバル化と地域社会		2	
	海外文化体験		2	
	資格英語 1		1	
	資格英語 2		1	
	翻訳研究		2	
	英米文学研究		2	
	中国の社会と文化		2	
韓国の社会と文化		2		
地域振興と国際コミュニケーション1		2		
地域振興と国際コミュニケーション2		2		
心理と人間行動	人間と社会		2	
	認知の科学		2	
	青年の心理		2	
	適応の心理		2	
	発達心理学		2	
	犯罪と非行の心理学		2	
	学習心理学		2	
	地域文化と人間行動		2	
	心理統計学 1		2	
	心理統計学 2		2	
	心理学基礎実験 1		2	
心理学基礎実験 2		2		

	計	0	160	
--	---	---	-----	--

キャリアデザイン科目

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 1	2		
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 2	2		
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 3	2		
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 4	2		
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 特 講 A		2	
キ ャ リ ア デ ザ イ ン 特 講 B		2	
イ ン タ ー ン シ ッ プ		1	
計	8	5	

専門ゼミ・卒業研究

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
基 礎 ゼ ミ 1	1		
基 礎 ゼ ミ 2	1		
専 門 ゼ ミ 1	1		
専 門 ゼ ミ 2	1		
卒 業 研 究	8		
計	12	0	

サブメジャー科目

	授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
復 興 支 援	復 興 支 援 論		2	
	災 害 復 興 の 歴 史		2	
	ボ ラ ン テ ィ ア 論		2	
	災 害 と 地 域 1		2	
	災 害 と 地 域 2		2	
	防 災 ・ 減 災 の 基 礎		2	
	原 発 と 放 射 線 の 基 礎		2	
	復 興 支 援 演 習 1		1	
	復 興 支 援 演 習 2		1	
	災 害 と 人 間 行 動		2	
	環 境 エ ネ ル ギ ー の 基 礎		2	
	災 害 復 興 と ま ち づ くり		2	
	復 興 支 援 と 人 的 ネットワーク		2	
	復 興 支 援 プロジェクト		1	
地 域 公 共 政 策	地 域 公 共 政 策 の 基 礎		2	
	憲 法		2	
	行 政 法 1		2	
	行 政 法 2		2	
	政 治 学		2	
	民 生 法 論		2	
	経 済 原 論		2	

	憲法演習		1	
	地域行政	政治学	2	
	行政政治学	演習	1	
	民法	演習	1	
	経済学	演習	1	
	経済学	演習	2	
	地域政策	論	2	
	公私法	演習	1	
	私法	演習	1	
地域とビジネス	経営と戦略		1	
	経営と戦略		2	
	消費と流通		1	
	消費と流通		2	
	簿記		2	
	サービスマネジメント		1	
	サービスマネジメント		2	
	経営分析の基礎		2	
	人材管理の基礎		2	
	企業経営事例研究		2	
	消費と流通事例研究		2	
ICT	サービスマネジメント事例研究		2	
	eコマースと企業活動		2	
	地域と企業		2	
	ICT基礎		2	
	表計算演習		1	
	プレゼンテーション演習		1	
	情報倫理と知的財産		2	
	ICT基礎実習		1	
	ビジネスコンピューティング		1	
	システム設計技法		2	
	コンピュータシミュレーション		1	
マルチメディア演習		1		
コンピュータネットワーク		2		
データベース		1		
データベース		2		
情報と言語教育		2		
Webデザイ		2		
Web解析		2		
日本語・日本文化	日本語教育文法		2	
	人間文化概論		2	
	日本文化史		2	
	日本語表現法		1	
	日本語表現法		2	
	日本語学習アドバイジング		2	

	文 化 社 会 論		2	
	現 代 日 本 文 化 論		2	
	日 本 文 化 文 献 講 読		1	
	文 章 と 論 理		2	
	日 本 語 教 育 法 1		2	
	日 本 語 教 育 法 2		2	
	日 本 文 化 研 究 A		2	
	日 本 文 化 研 究 B		2	
	日 本 語 教 育 実 習		2	
教 職	教 育 職 論		2	
	教 育 心 理 学		2	
	教 育 方 法 論		2	
	教 育 相 談 論		2	
	英 語 教 育 学 概 論		2	
	教 育 原 理		2	
	教 育 の 制 度 と 経 営		2	
	英 語 教 材 研 究 法		2	
	特 別 活 動 の 指 導 法		2	
	道 徳 教 育 の 指 導 法		2	
	児 童 英 語 教 育 論		2	
	生 徒 ・ 進 路 指 導 論		2	
	教 育 課 程 論		2	
	英 語 科 教 育 法 1		4	
	英 語 科 教 育 法 2		4	
	教 育 実 習 A		5	
教 育 実 習 B		3		
教 職 実 践 演 習 (中 ・ 高)		2		
		0	174	

別表第4 薬学部専門教育科目及び単位数
薬学科

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目 の単位数	備考
医 療 心 理 学	1		
イ グ ナ イ ト 教 育 2 A	2		
イ グ ナ イ ト 教 育 3	2		
プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	2		
薬 学 英 語 入 門	1		
物 理 化 学 1	1		
物 理 化 学 2	1		
薬 品 分 析 学 1	1		
薬 品 分 析 学 2	1		
物 理 化 学 3	1		
物 理 薬 剤 学	1		

無	機	化	学	学	1	1			
有	機	化	学	学	1	1			
有	機	化	学	学	2	1			
有	機	化	学	学	3	1			
有	機	化	学	学	4	1			
薬	の	基	原	学	1	1			
生		薬	学	学	1	1			
医	薬	品	化	学	1	1			
医	薬	品	化	学	2	1			
生		化	学	学	1	1			
生		化	学	学	2	1			
病	態	分	子	生	物	学	1		
細	胞	分	子	生	物	学	1		
機	能	形	態	学	学	1	1		
機	能	形	態	学	学	2	1		
機	能	形	態	学	学	3	1		
微		生	物	学	学	1	1		
免		疫	学	学	学	1	1		
衛		生	化	学	学	1	1		
環	境	衛	生	学	学	1	1		
公	衆	衛	生	学	学	1	1		
薬		理	学	学	1	1			
薬		理	学	学	2	1			
病	態	・	臨	床	検	査	学	1	
化	学		療	法	学	学	1	1	
化	学		療	法	学	学	2	1	
薬	局		方	概	論	1	1		
化	学		結	合	論				
薬		理	学	学	3	1			
薬		理	学	学	4	1			
病	態	・	薬	物	治	療	学	1	2
病	態	・	薬	物	治	療	学	2	2
病	態	・	薬	物	治	療	学	3	2
生		物	薬	劑	学	学	1	1	
漢	方		医	薬	学	学	1	1	
臨	床		薬	学	学	1	1		
臨	床		薬	学	学	2	1		
医	薬	品	情	報	学	学	1	1	
薬	品	安	全	性	学	学	1	1	
臨	床	薬	物	動	態	学	学	1	1

香粧品学						1	
生物構造薬学						1	
医薬品開発概論	1						
物理解系薬学要説						1	
化学系薬学要説						1	
生物系薬学要説						1	
健康と環境要説						1	
薬と疾病要説						1	
医薬品創製要説						1	
薬学と社会要説						1	
数学					2		
物理					2		
化学				1	2		
化学				2	1		
化学				3	1		
生物化学				1	1		
生物化学				2	2		
自然科学実習入門				2			
物理化学演習				1	1		
物理化学演習				2	1		
化学演習				1	1		
化学演習				2	1		
生物化学演習				1	1		
生物化学演習				2	1		
数学入門						1	
数学基礎演習				1		1	
数学基礎演習				2		1	
イグナイト教育2 B				2	1		
地域・災害医療学						1	
臨床心理学						1	
計				133		52	

別表第5 教職課程授業科目及び単位数

(1) 教科に関する専門科目

英語（高等学校1種、中学校1種）

地域教養学科

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
英語学概論	2		

英語教材研究	2		
英語音声学 1	2		
英語音声学 2	2		
言語と社会		2	
英米文学概論	2		
英米文学研究		2	
Oral Communication 1	1		
Oral Communication 2	1		
Oral Communication 3	1		
Oral Communication 4	1		
Communicative English Grammar 1	1		
Communicative English Grammar 2	1		
English Reading 1		2	
English Reading 2		2	
English Reading 3		2	
English Reading 4		2	
English Listening 1		1	
English Listening 2		1	
English Writing 1		2	
English Writing 2		2	
英米文化概論	2		
異文化コミュニケーション論	2		
翻訳研究		2	
海外文化体験		2	
計	20	22	

(2) 教科又は教職に関する専門科目

英語（高等学校1種）
地域教養学科

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
道徳教育の指導法 児童英語教育論		2 2	「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて修得した「教科に関する科目」もしくは「教職に関する科目」について、併せて16単位以上修得
計	0	4	

英語（中学校1種）
地域教養学科

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
児童英語教育論		2	「教科又は教職に関する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて修得した「教科に関する科目」もしくは「教職に関する科目」について、併せて8単位以上修得。
計	0	2	

(3) 教育職員免許法施行規則66条の6に定める科目
(高等学校教諭、中学校教諭に共通するもの)

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
暮らしのなかの憲法	2		
健康・スポーツ 1	1		
健康・スポーツ 2	1		
英語 B 1	1		
英語 B 2	1		
コンピュータリテラシー	1		
ICT基礎実習	1		
計	8	0	

(4) 教職に関する専門科目
(高等学校教諭、中学校教諭に共通するもの)

授業科目	必修科目の 単位数	選択科目の 単位数	備考
教職論	2		
教育原理	2		
教育心理学	2		
教育方法論	2		
教育の制度と経営	2		
教育課程論	2		
英語科教育法 1	4		該当教科の指導法を履修。なお、各教科の指導法の科目より、中免は8単位、高免は4単位それぞれ選択必修。
英語科教育法 2		4	
英語教育学概論		2	
道徳教育の指導法	2		中免のみ

特別活動の指導法	2		
生徒・進路指導論	2		
教育相談	2		
教育実習 A	5		取得希望免許種に 応じ、いずれかの1科目を修得。 事前事後指導1単位を含む。 事前事後指導1単位を含む。 教育実習A 中免のみ又は中高免両方を同時に取得の場合は、教育実習Aを修得する。 教育実習B 高免のみ取得の場合は、教育実習Bを修得する。
教育実習 B	3		
教職実践演習（中・高）	2		
計	34	6	

(5) その他

中学校教諭免許状を取得する場合は、「介護等体験」を修得すること。

別表第6 その他資格関連科目

(1) 日本語教員関連科目

科目区分	科目区分ごとの必要単位数	授業科目	単位数	
			必修	選択
社会・文化・地域	10	地域と社会	2	2
		国際コミュニケーション		2
		日本文化史論		2
		現代日本文化論 A		2
		日本文化研究 B		2
		海外文化体験		2
言語と社会	6	言語と社会	2	
		異文化コミュニケーション論	2	
		グローバル化と地域社会研究		2
言語と心理	2	心理と人間行動	2	2
言語と教育	6	情報倫理と知的財産		2
		情報と言語教育 1	2	2
		日本語教育法 2	2	
		日本語教育法実習		2
言語	8	こ と ば の 科 学	2	
		日 本 語 教 育 文 法	2	
		日 本 語 教 表 現 法	2	

	日 本 語 表 現 法 2	2	2
	文 章 と 論 理		
日本語教員修了証発行の要件：32 単位 (480 時間) 以上の取得を要す			

(2) 社会調査士関連科目

	「社会調査士資格取得のための標準カリキュラム」で定める科目	単位	授業科目	必修科目の単位数
A	社会的調査の基本的事項に関する科目	2	社 会 調 査 の 基 礎	2
B	調査設計と実施方法に関する科目	2	調 査 の 設 計 と 方 法	2
C	基本的な資料とデータの分析に関する科目	2	社 会 デ ー タ 分 析	2
D	社会調査に必要な統計学に関する科目	2	社 会 統 計 学	2
E	量的データ解析の方法に関する科目	2	量 的 調 査 の 方 法	2
F	質的な分析の方法に関する科目	2	質 的 調 査 の 方 法	2
G	社会調査の実習を中心とする科目	2	社 会 調 査 実 習 1・	2

EとFは片方の履修で可

別表第7 学 費

入 学 金	(教 養 学 部) 100,000 円 (薬 学 部) 400,000 円
-------	--

教養学部

費 目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次
授 業 料	750,000 円	750,000 円	750,000 円	750,000 円
施 設 拡 充 費	300,000 円	300,000 円	300,000 円	300,000 円

薬学部

費目	1 年 次	2 年 次	3 年 次	4 年 次	5 年 次	6 年 次
授 業 料	1,300,000 円					
施設拡充費	500,000 円					
実務実習費	0円	0円	0円	0円	400,000円	0円

在籍料 (休学者) 25,000 円

聴講生・科目等履修生・研究生

聴講生	登録料	10,000 円
	聴講料	1 単位につき 6,250 円
科目等履修生	登録料	10,000 円
	聴講料	1単位につき 10,000円 *本学卒業生は上記の半額
研究生	研究指導料	教 養 学 部 150,000 円
		薬 学 部 300,000 円

別表第8 進級基準

教養学部地域教養学科

科目区分		進級要件単位数		備考
		2年生 から 3年生	3年生 から 4年生	
全学共通教育科目	初年次教育科目	50 単位以上	90 単位以上	全学共通教育科目は 32 単位まで進級要件単位数に含めることができる。
	リテラシー教育科目			
	外国語教育科目			
	一般教養科目			
	健康・スポーツ教育科目			
専門教育科目	基本科目			
	メジャー科目			
	キャリアデザイン科目			
	専門ゼミ・卒業研究			
	サブメジャー科目			
進級要件科目		基礎ゼミ 1 基礎ゼミ 2 地域教養の学び	専門ゼミ 1 専門ゼミ 2	進級要件単位数を満たしていても、進級要件科目の単位を修得していなければならない。

薬学部薬学科

進級判定	進級基準	備考
4年生まで（各学年）	(1)当該学年で修得すべき必修科目のうち、不合格となった科目が3科目以内であること。 (2)実験・実習科目に、不合格となった科目がないこと。 (3)同一学年における在学年数が2年以内であること。	
4年生から5年生	(1)4年生までの必修科目122単位をすべて修得していること。 (2)4年生における在学年数が2年以内であること。	
5年生から6年生	(1)病院実習・薬局実習に合格していること。ただし特別な理由により病院実習または薬局実習をできなかった場合を除く。 (2)5年生における在学年数が2年以内であること。	

別表第9 追試験として認められる事由、必要書類、追試験料及び評価基準

事由	必要書類	追試験料	評価基準
1. 感染症※	医師の診断書	なし	100点満点
2. 実習等（教育実習，介護体験，福祉実習，インターンシップ等）	担当部署の発行する書類		
3. 就職試験	就職試験案内等（受験票）		
4. 忌引（第一親等～第三親等）	死亡診断書の写等		
5. 交通機関の遅延	遅延証明書		
6. 交通事故	事故証明書		
7. 裁判員裁判	公的証明書		
8. その他の公的な事由	公的証明書		
9. その他の私的な事由	学生の所属する学部の学部長押印のある理由書	1,000円	90点満点

※感染症は、学校保健安全法施行規則第18条に定められた感染症とする。

別表第10 再試験として認められる対象者、条件、再試験料及び評価基準

教養学部地域教養学科

対象者	条件	再試験料	評価基準	備考
4年生に進級合格し、特定の条件をすべて満たしている者	(1) 大学が定める期限までに必要な学費を全額納入している。 (2) 前期については、定期試験等を受験し、必修科目が不合格となっている。(科目数の制限なし) 後期については、定期試験等を受験し、卒業要件科目のうち、必修科目と選択科目をあわせて4科目以内の不合格となっている。 (3) 当該科目の授業の出席が3分の2を超えている。	1,000円	60点満点	

薬学部薬学科

対象者	条件	再試験料	評価基準	備考
全学年	(1) 大学が定める期限までに必要な学費を全額納入している。 (2) 定期試験等を受験し、必修科目が不合格となっている。(科目数の制限なし) (3) 当該科目の授業の出席が3分の2を超えている。	1,000円	60点満点	